

新型コロナウイルス感染症による の減少をふまえた予算編成



…147億6033万7千円

保険年金課（歳出）

問 後期高齢者総合健診の申請件数の見込みは2年度予算と同様に214件とのことだが、被保険者数は増加しているのでは。

（予算：2268万4千円）

答 被保険者数は増加しているが、2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により申請件数が当初予算計上件数より少なくなっている。3年度も影響が考えられるため、申請件数を2年度予算と同様とした。

教育総務課（歳出）

問 入学準備金貸付事業について、具体的に。
（予算：80万9千円）

答 高校入学時30万円、大学入学時50万円を限度として貸し付けを行う。3年度は各1名ずつ予算に計上している。元年度は応募人数が多かったため按分で貸し付けた。

総括質疑

問 市長はこれまでの市政からの「変革」を胸に市政運営に当たるとしている。また自身の公約として「停滞する市政を動かすための4つの方針」を掲げている。これまでの市政を変革しようとするならば、これまでとは違う取組が必要だ。しかし変革と呼べるほどのポイントが予算から見えてこないのではないかと。市長は予算の編成方針として「選択と集中」を行ったとしているが、何を選択して何に集中したのか、その集中投資先も不透明である。若干増額したものは総務費と衛生費だが、商工費や土木費は大きく減額されている。

市長が公約に掲げている白岡駅西口線の整備にも十分な予算は確保されているのか。市長が掲げる「変革」のポイントは、3年度予算にどのように表れているか。そして市長の公約はどのように予算に反映されているのか。

答 「財政基盤の確立を目指す」においては、都市計画道路白岡駅西口線、白岡宮代線などの予算を計上したほか、事業の選択と集中による歳出の削減や国庫補助金及び地方債を積極的に活用し歳入の確保を図った。「誰もが安心して住める白岡を創る」については、災害に強いまちづくりを促進するため、水害リスク情報等を反映した最新ハザードマップを作製する予算を計上したほか、学童保育所を新設するための予算を計上した。環境分野については、各種事業を推進するとともに、創エネ・省エネ促進事業において内容の見直しを行うなど、より効果的な事業となるよう予算を計上した。「元気の出る商工業の白岡を創る」については、商店街の空き店舗等の有効活用につながる調査研究を進める。

反対討論

3年度予算は新型コロナウイルス感染症の影響を受けて、市税の減収などがありましたが、地方交付税は増額となりました。歳出では、市民生活を守る諸政策が展開されています。しかし、エネルギー問題などで計画的で積極的な施策の展開が必要と考えます。

賛成討論

コロナ禍にあって、厳しい財政状況を鑑みた堅実な予算です。そのなかで、子育て支援・防災対策・都市基盤整備など、市民の生活や市の発展のための事業を確保されています。よって、評価し賛成します。